

「神の摂理」

～すべてが益となる神の正義～

ローマ 8 : 28 ~ 30

ある1人の人が電車に乗っていました。すると2人の人が居ました。1人が窓を開けようとするとう1人の人が窓をバンと閉めました。「私は窓を開けられると寒くて死ぬんだ」と言いました。すると窓を開けようとした人が言いました。「私は窓が開かないと窒息して死ぬんだ」2人は大騒ぎして大喧嘩をします。車掌も来て何回もなだめるが結局取めることが出来なかった。そうすると同じ車両に居たおじさんが立ち上がり2人に言いました。「まず、窓を開けろすると1人が死んで、その後窓を閉めるそうしたらもう1人も死ぬからそうすると平和が訪れる」と言いました。争いの種は自分が正しいと思って喧嘩しているわけですがこの正義は彼らに解決を与えることはありません。

■ 「摂理」について (28節)

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益とさせていただきますことを、私たちは知っています」

1. 「私たちは知っています」

2. この文の主語は何か。

(1) 新改訳は「神」を主語としている。

①「すべてのことが働いて益となることを」(異本)と欄外にある。

(2) 新共同訳は「万事」を主語としている。

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています」

(3) 写本上は、「万事」を主語とするのがよい。

①「神」という言葉は後代の追加であろう。②しかし、意味においては同じである。動作の主体は、神である。③神が、すべてのことを働かせて益とさせていただきます。

(4) 「働かせて」という動詞

①「スネルゲオウ」という動詞 ②現在形。動作が継続していることを示す。

3. 誰のために「益となる」のか。

(1) 人間一般ではない。

(2) 人間の視点から「神を愛する人々」

①愛する(アガパオウ)

(3) 神の視点から「神のご計画に従って召された」

神の愛につながると「神を愛する人」これは人間からつながろうとする行為。「神のご計画に従おうとする人」こちらは神から見た目線です。この2つが手をつなぐ様子が自然界に出されたことと同じなのです。

神の計画に従って神のもとに出たら自然に私達は元に戻されるのです。私達の行為が何かをするわけではないと言うことを伝えています。

すべての万物が自然に本来の姿に戻ろうとするように作られているのです。

■ 摂理のまとめ

摂理は、神を愛し続ける者への神の継続的な守りと導きである。(2)「益となる」とは必ずしも私たち人間が考える内容とは合致しない。①ましてや、物質的祝福のことでない。(3)「益となる」とは、御子の姿に似るとい目標に対して益となるという意味。作られた姿

①試練は、神のトータルプランの一部であることが分かる。

II. 「摂理」を可能にする5つの動詞について (29~30節)

「なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに義と認め、義と認めた人々にはさらに栄光をお与えになりました」ツダケーを直訳すると「正義ではない」「共同体への忠誠」で共同体とは最終的には教会で始めは神とあなたなのです。イエス・キリストと兄弟で有ることを保つことが正義だと聖書は言っているのです。

■ 1. 「摂理」をなす5つの動詞について

①あらかじめ知っている(前もって知っている)

(1) 「プロ・ギノウスコウ」という動詞

①「プロ」とは「前もって」という意味である。②「ギノウスコウ」とは「知っている」という意味である。

(2) 神は、どのようにして私たちが存在する前から、私たちを知っておられたのか。

①神の知識は、第2の動詞と深く関係する。神はあなたがどうなって、どうやって失敗するかをすべて知っているのです。結局私達がなぜ問題に合うのかと言えば、本来の姿では無くなったからなんです。私達は後悔するのではなく悔い改めて、その行為をもうしない決断が必要なのです。

■ 2. あらかじめ定める

(1) 「プロ・オリゾウ」という動詞

①「プロ」とは「前もって」という意味である。②「オリゾウ」とは「境界線を引く」という意味である。③「私たちが救われるように、前もって境界線を定めた」という意味になる。これは隣の畑にたくさん害虫が湧いているがここには入ってこないという表現です。あなたの畑には害虫が来ないのです。なぜかと言うとあなたの畑は土が元気であなた自身にも命があるから害虫が食べることが出来ないのです。

(2) 神は計画を立てられたので、事前の知識を持っておられた。

(3) 事前の選びの目的

①「御子のかたちと同じ姿に」なるように、あらかじめ定めた。②コリ 3:18「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」③「御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです」私たちは、キリストの兄弟となる。

(4) キリストの優位性(長子)

①時間的優位性 ②位置的優位性「御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です(コロ 1:15)」「また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めてであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです(コロ 1:18)」長子になされることは必ず次男にもなされるのです。

■ 3. 召す

(1) 「カレオウ」という動詞

①28節の「召された」(クレイトス)は形容詞である。②選んだ、知っていた、そして、救われるように召した。

(2) ①ユダヤ人に関して「神の賜物と召命とは変わることがありません(ロマ 11:29)」②「神は真実であり、その方のお召しによって、あなたがたは神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入られました(1コリ 1:9)」③「ご自身の御国と栄光とに召してください(1テサ 2:12)」④「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです(1ペテ 2:9)」

■ 4. 義と認める(義認)

(1) 「ディカイオウ」という動詞

①神との関係が正しくされる。②無罪宣言を受ける。③神の怒りから救われる。

■ 5. 栄光を与える(栄化)

(1) 「ドクサゾウ」という動詞

①これは「体の贖われること」であり、救いの完成である。②摂理は、このゴールに私たちを導く神の御手である

(2) なぜ「聖化」が出てこないのか。

①聖化は、栄化の始まりである。②栄化は、聖化の完成である。

摂理=すべてが働く 正義=共同体への忠誠

神と人ととの愛によって成し遂げられる!!あなたが思う正義とは違う方法で神様が作った姿にその人を変えられていく奇跡が行われます。神様の願いはあなただけなのです。あなたが神様と一緒にいれば正義がその人に表されるのです。みなさんは敵が誰だか分かりますか?敵は自分なのです。この自分はいつも神の愛から離れキリストの兄弟であることを拒み、友であることを拒みます。ベテロはキリストと目が合った時、私は死ぬまであなたに着いて行くと言ったが私は彼を知らないと言いました。ベテロと同じ過ちをどれほど行っているでしょうか。摂理とは神のすべてが働くと言うことです。この世の初めから被造物にそうさせられているのです。摂理とはなっていくのではなく、なっているのです。神は今、摂理を行っているのではなくて摂理がすでに行われたのです。みなさんは長子であるイエス・キリストの兄弟でしたか?ユダもベテロも兄弟でした。ところが2人も一度は拒みました。1人は兄弟で有ることを放棄しました。しかし、1人は悔い改めて兄弟であることを願いました。2人の犯罪者がいました。2人もイエス・キリストを罵っていました。しかし、1人は兄弟であろうとしました。彼は兄弟になりました。そして今日までその摂理を伝えていきます。彼はパラダイスにいたのです。私達が元の姿に戻るチャンスは唯一「神を愛すること」と「神の計画に従って生きる」この2つに尽きます。神の前に出る決断をしましょう。

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益とさせていただきますことを、私たちは知っています(ローマ 8:28)」

(要約者: 泉水 浩)

(2019年8月11日)